セキュリティパーティーを開こう

ACTIVIST CHECKLIST

最終更新日：**2026年4月21日**

このコピーは 2026年11月6日 に作成。 脅威が変化するにつれ、また自分の身を守るより良い方法が利用可能になるにつれ、ガイドを頻繁に更新します。最新バージョンはこちらから。 activistchecklist.org/ja/party/

自動翻訳: このページは自動翻訳されています。現時点で人によるチェックが済んでいるのはページの0%だけで、それ以外の部分には誤りがあるかもしれません。**翻訳のチェックに協力する**[1]。

多くのアクティビストは、デジタルセキュリティに取り組むつもりでいながら、結局手をつけられずにいます。セキュリティパーティーはその解決策。 3〜15人で90分集まり、チェックリスト（基本、Signal、ドクシング対策など）に一緒に取り組み、お互いに声をかけ合って最後までやり通しましょう。セキュリティの専門家である必要はありません。アジェンダの例、招待文のテンプレート、主催者向けのヒントも載せています。

多くの場合、人々に必要なのはこれ以上の情報ではありません。必要なのはサポート。そこで役に立つのがセキュリティパーティーです。一緒にデジタルセキュリティを強化する一歩を踏み出すための集まりです。

このガイドを書いたのは、何度もセキュリティパーティーを開いてきて、その効果を実感してきたからです。ぜひやってみてください！

多くの人が、いつかはデジタルセキュリティに取り組もうと思っています。でも、声をかけ合う仲間やサポートがないと、結局ToDoリストの一番下、後回しになってしまいがち。**一緒にやれば、ちゃんと実行できる。**

（ヒント：今すぐ始めてもOK。何人かの友達に候補日をいくつか送って、都合のいい日を聞いてみよう。）

セキュリティはコミュニティ全体にとって大切

- **脅威は現実のもの。そして自分たちを守るためにできることがある。** 今の政治情勢の中で、アクティビストへの監視や運動への弾圧は強まっています。警察、ICE、右翼の敵対勢力、そして政府がデータ提供を求めるテック企業からの圧力は、どんどん強まっています。リスクを実際に下げることができる具体的なステップがあります。ほかの人と一緒に取り組めば続けやすくなります。
- **セキュリティは集団的なもの。** 自分個人のセキュリティだけの話ではありません。自問自答してみよう。「もし自分のデバイスやデータが政府の手に渡ったとしたら、つながりのある人たちを守れるだけのセキュリティ対策ができているだろうか？」**本当に効果を上げるためには、一緒に取り組むことが必要。**
- **安全が達成できている人ほど大胆に行動できる。** 守りが十分だと感じられることは、活動に参加し続ける自信へとつながる。

セキュリティパーティーとは？

セキュリティパーティー は、デジタルセキュリティのステップを一緒に行う集まりのこと。テーブルを囲んで3人だけでやるのもよし、ミーティングに集まった15人でやるのもよし。

注意 セキュリティパーティーはトレーニングではないです。講義でもない。セキュリティの専門家がみんなにあれこれ指導する場でもない。教える役目はActivist Checklistのガイド[2]が担当します。

単発企画でも、連続企画でも。 一度きりのパーティーでも十分に素晴らしい。**シリーズ**にすればさらに効果的。たいていのグループにとって、じっくり取り組むのには一回では足りません。最後までやりとげるには毎月、または四半期ごとなどに集まるとよいです。最初にはっきり伝えておきましょう。一晩で全部終わらせる必要はなし。

セキュリテイパーティーがうまくいくわけ

- お互いに声をかけ合い、励まし合える環境があると、セキュリティ強化のステップを実行できる可能性がぐっと高まる。
- 仲間と一緒にやるほうが楽しい。
- 隣の人も同じように試行錯誤していると、質問しやすくなる。
- ほとんどのステップは、腰を据えて取り組めば5〜15分で終わる。ただ、「実際にやる」ということは、ひとりではなかなか実現しないもの。

主催する人は？

セキュリティパーティーは誰でも開けます。**セキュリティの専門家である必要はなし。** 何人かに声をかけて集まり、このサイトのガイドに一緒に取り組む気持ちさえあれば大丈夫。

パーティーを企画しよう

誰を招待するか

- **自分のグループ内で、独自のセッションとして行う。** 定例のミーティングの時間に設定できれば高い出席率が得られる。別の集まりとして開くのもよし。
- **自分のグループ内で、定例のミーティングのなかで短い時間を設ける** 。毎回のミーティングの最後に10分追加するなど。チェックリストをひとつ選んで、時間をかけて少しずつ一緒に進めていこう。
- **友達グループで行う。** 運動に関わっている人たちで集まってやろう。
- **同僚と行う。** 政治的に標的にされる可能性があるような仕事を有償でしている場合、同僚と一緒に取り組もう。

人数、時間、場所

- **規模：** 参加者は3〜15人くらいが最適。大きめの集まりでは、参加者5人につき1人くらい、テックに詳しいサポート役がいると安心。 10人以上なら、一人ひとりに声をかけて進行を助けることだけを担当する「巡回サポート役」を置くことも検討を。
- **時間:** 90 分がとりあえずおすすめ。 （1〜3時間の範囲ならどれでもOK。）
- **場所:** いちばん安心、ゆったりできるのは誰かの家。コミュニティスペースや図書館、労働組合の集会所などでもよし。いっそのことバーで開く[3]のもよし。オンラインでも大丈夫。

よい集まりにするためのポイント

- **食べものを用意するのがおすすめ:** おやつだけでも十分。持ち寄りパーティーや食事会を開く余裕があれば、それもすばらしい。（食事会にする場合は、セキュリティ作業を始める時間をはっきり決めておこう。そうしないと、おしゃべりだけで夜が終わってしまうおそれがあるので。）
- **音楽：** 黙々と作業する時間が長く続くので、歌詞のない静かなBGMを流すと集中しやすくなるようです。（ただし、人によっては刺激が強すぎたり気が散ったりすることもあるので、参加者に確認を。）
- **電源：** 延長コードや予備の充電器を用意。
- **インターネット環境：** 速くて安定したインターネットが使える場所を選ぼう。
- **あとでのお楽しみを入れる:** 夕食を食べたり、映画を観たり、交流したり。セキュリティ以外にもあとで楽しいことが待っているという感じにできます。

- **クリエイティブにやろう:** だれを誘うかの準備、作業中に楽しくやる方法（面白い人を呼ぶとか？）、セキュリティーが強化できたことをお祝いするやりかたなど、いろいろな創意工夫を！

招待メッセージの例

> こんにちはー。[日付]の[時間]から、うちでセキュリティパーティーをやります。一緒にデジタルセキュリティ対策を進める気軽な集まりです。それぞれ自分のデバイスを使って、スマホのセキュリティを固めたり、Signalをちゃんと設定したり、Googleサービスの代わりになるものを設定したり、そんな感じのことをやります。ずっとやらなきゃと思いながら、なかなか手をつけられていないことを片付けます。スマホと充電器、できればノートパソコンも持ってきてください。[お菓子／食べ物／その他]もあります。参加できるかどうか教えてください。

パーティーを開こう

呼びかけ人としてやること

- **人を誘う:** ひとりずつ宛にテキストメッセージを送るのが一番。グループへの一斉送信もおすすめ。
- **参加予定の確認:** 来る人からは事前に連絡をもらおう。参加率が上がるので。
- 前日には **リマインダー** を送ろう。（Signalグループを作って、参加の返事をくれた人を追加するのもよし。）
- **司会は軽めに:** あまりリードしなくて大丈夫。進め方は以下のとおり。たいていの人に必要なのは、一緒にやる仲間がいるという後押し。

チェックリストを選ぶ

集中するチェックリストを選ぶ。 ここから始めよう、とみんなに勧めよう。特におすすめなのは：

- セキュリティの基本[4]：初めてのセキュリティパーティーで、ほとんどの人が取り組むのはこれ。
- Signal セキュリティチェックリスト[5]：Signal の安全性は、どう設定し、どう使うかで決まる。
- ICE 監視行動のセキュリティ[6]：米国でICEの監視、緊急対応、またはそれに関連する活動をしているグループ向け。
- ドクシング対策[7]：公の場に出る活動をしていて、悪質な右翼からの攻撃のおそれがあるグループ向け。

アジェンダの例（90分）

時間の長さは必要に応じて調整を。

- **[10 分] 参加者を迎える。** みんなが到着。おやつやごはんをつまみながら雑談。
- **［10分］自己紹介と原則について**
  - **自己紹介：** 順番に軽く自己紹介。名前、代名詞、参加したきっかけ、今回で学びたいこと、安心できるようになりたいことをひとつ言う。
  - **原則について:** デジタルセキュリティについて実際に取り組むため、一緒に集まったことの確認。この場のいくつかの基本ルール：
    - **現状から始めよう。** これまでにやったこと・やっていないこと、今使っているツールについて、恥ずかしく思わないこと。みんなが学びの途中なのだから。

    - **セキュリティは個人ではなく、仲間同士のもの。** 自分のデバイスは、自分のリスク許容度からすればもう十分安全。たとえそう思っていたとしても、自問してみよう。自分のデバイスが、ほかの誰かを危険にさらさないほど安全だと、自信を持って言えるだろうか？
    - **ヘルプを求めよう。手を貸す前にはひと声かけよう。** 行き詰まったら遠慮なく声を上げて。また、誰かを手伝うときは、**デバイスに触らず、まず声をかけよう。** 手順を説明しながら本人に操作してもらうことで自信がつくし、本人が主導権をとれる。
    - **進捗を祝おう。** 何かを終えたら（小さなことでも）、声に出して共有しよう！そうすることで、場全体に勢いが生まれる。
  - **Wifi:** ノートパソコンで作業する人たちのためにWi-Fi情報をシェアしよう。
- **［60分］作業時間**
  - 携帯電話やノートパソコン上で、**自分に関連するチェックリストを全員が開く**。必要であれば、チェックリストを何部か印刷したり、主な項目をフリップチャートやホワイトボードに書き出したりしておくのもおすすめ。
  - **始める作業をみんなに選んでもらう。** ざっと全員を回って、何を最初にやるか各自で決めてもらおう。参加者は上から順に進めても（チェックリストはすでに優先度順に並んでいる）、自分にとって関係が深そうな項目や取り組みやすい項目から始めても大丈夫。
  - **軽いおしゃべりはOK。** 話しても大丈夫な場だとわかれば、みんなが自由に質問できる。おしゃべりで作業が進まなくなってきたら、ちょっと集中しようと声をかけよう。
  - **声かけをする。** 一人あたり一分ずつ回って、サポートがいるかどうか確認を。（または、テックに詳しい仲間にこの役を頼んでもよい。）何かをやり終えたら、声に出して祝おうと参加者に勧めよう。
- **[8分] お祝い:** 一人ずつ、次の内容をシェアしてもらう:
  - やり終えたこと（または進められたこと）をひとつ。
  - 学んだこと、またはびっくりしたこと。
  - やってみて今どんな気持ちか。
- **［2分］締めくくり**
  - これからは自分が広める役になってみて、と参加者に伝えよう。私たちが最も安全になるのは、運動のネットワークにいる人たちのほとんどがこうした対策をとったとき。今週中に何度か機会を見つけて、学んだことを周りの人に話してみてください。
  - （任意）Signal グループを作り、来週までに各自が自分の時間で何をやるか、一人ひとり約束してもらうのもよし。グループで進み具合を報告したり、進捗をお祝いしたり、質問したりなど。
  - （任意）次のセキュリティパーティーを主催してみたい人がいないか聞いてみよう。

オンラインでの集まり

- 質問や回答はチャットを使おう。
- ときどき参加者にミュートを解除してもらい、簡単に様子を確認するのもよし。作業の手が止まるかもしれないけど、場の雰囲気を盛り上げるのに役立ちます。

集まりを成功させるためのヒント

- **全部終わらせようとしないこと。** 5分で終わるステップもあれば（消えるメッセージをオンにするなど）、一時間かかるものもある（パスワードマネージャーへの移行など）。それで大丈夫。目標は最後までやり切ることではなく、実際に始めること。

- **うまくいかないことがあったら、飛ばしてOK。** アプリがアップデートされていたり、2FAのコードが届かなかったり、スマホが古すぎて最新のiOSに対応していなかったりすることもある。「これはまた後でやろう」と言ってよいことにしよう。場の勢いを止めないように。
- **張り切りすぎる「専門家」に注意。** ときどき、いろいろな意見を持ち込んでくる人がいます。やんわりと話を戻しましょう。これはトレーニングではなく、今できそうなことに取り組むための場なのだから。質問は主催者やヘルパー役にするよう案内すると、話が脱線しにくくなります。
- **答えがわからないときは、正直にそう言おう。** 専門家である必要はありません。「わからないから、一緒に調べてみよう」というのは立派な答え。
- **誰かが本当に行き詰まっていたら、別のチェックリスト項目に移ることを提案しよう。** 順番どおりに終わらせることより、勢いを保つことのほうが大事。
- **恥の意識を消し続ける。** 「一番安全な」ツールをまだ使っていないと、何か間違ったことをしているのではと不安に思う人は多いもの。いちばん手っ取り早く自信につながるのは、今の環境が出発点だと認めること。

どうでしたか？

セキュリティパーティーがどうだったか、ぜひ教えてください！お問い合わせページ[8]からどうぞ。うまくいったことや学んだことを聞かせてもらえれば、ほかの主催者のためにこのガイドを改善できます。

リソース

このガイドはCryptoParty[9]の伝統を受け継いでいます。 2012年から、人々はデジタルセキュリティについて互いに助け合うために集まってきました。何がうまくいくのかを見つけ出してきたオーガナイザーたちに、私たちは多くを負っています。さらに深く知りたい人のために、私たちが特に役立つと思ったリソースを紹介します。

セキュリティパーティーの開催についてもっと知る：

- The CryptoParty How-To[10]。コミュニティが管理している定番ガイド。一つで完結している資料なら、いまだにこれがベスト。
- CryptoParty: The Good Parts[11]。ニューヨークで開かれた42回以上のイベントから得た教訓。短くて面白い。
- 7 Tips for Hosting a CryptoParty[12]。実践的かつ戦術的なヒント。

トレーナー的な役割をやっていきたい人へ：

- How to Give a Digital Security Training[13] — by Matt Mitchell (CryptoHarlem).
- Level Up Guide - How to be a better trainer[14]
- Security Education Companion[15]
- Holistic Security Trainers' Manual[16]

関連ガイドでさらに学ぼう

セキュリティの基本

すべてのアクティビストに実践してほしい、基本のセキュリティ対策。

Signalのセキュリティ

Signalメッセージアプリの設定を見直して、より安全な通信を。

ICE監視行動のデジタルセキュリティ

ICE監視行動や緊急対応ネットワークのためのデジタルセキュリティ。

ドクシング対策

ドクシングやネット上のハラスメントから身を守ろう。

- アクティビストのためのVPN 16分で読めます 17
- セキュリティアップデート確認ツール 18
- Protonを安全に使う方法 17分で読めます 19
- リンクのトラッキングを削除する 3分で読めます 20
- Signalは安全？ 5分で読めます 21
- Apple IntelligenceはSignalのメッセージを読んでいる？ 6分で読めます 22

リンク

1. activistchecklist.org/ja/contribute/
2. activistchecklist.org
3. theguardian.com/us-news/2026/apr/16/big-tech-breakup-parties
4. activistchecklist.org/ja/essentials/
5. activistchecklist.org/ja/signal/
6. activistchecklist.org/ja/ice/
7. activistchecklist.org/ja/doxxing/
8. activistchecklist.org/ja/contact/
9. cryptoparty.in
10. cryptoparty.in/organize/howto
11. medium.com/iff-community-stories/cryptoparty-the-good-parts-252b491e7173
12. medium.com/@tommycollison/7-tips-for-hosting-a-cryptoparty-3f856c1e8c38
13. vice.com/en/article/how-to-give-a-digital-security-training/
14. level-up.cc/you-the-trainer/be-a-better-trainer/
15. securityeducationcompanion.org
16. holistic-security.tacticaltech.org/trainers-manual
17. activistchecklist.org/ja/vpn/
18. activistchecklist.org/ja/updates/
19. activistchecklist.org/ja/proton/
20. activistchecklist.org/ja/links/
21. activistchecklist.org/ja/signal-secure/
22. activistchecklist.org/ja/signal-ai/